

2021年 第29週（7月19日～7月25日）の感染症発生動向調査情報を送付します

<今週の内容>

- 1 管内の発生状況
- 2 発生から見る注意点
 - 1) RSウイルス感染症が継続して発生しています
 - 2) 感染性胃腸炎の発生が続いています
 - 3) ダニ媒介感染症に注意しましょう
- 3 新型コロナウイルス感染症について
 - 1) 感染再拡大を阻止！
 - 2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」
- 4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

1 管内の発生状況

- 1) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）（報告のあった全疾患）

（表1）

	疾患名	定点当たり患者数			増減 （今週—先週）
		今週	先週	先々週	
1位	RSウイルス感染症	3.00	6.50	2.50	-3.50
2位	感染性胃腸炎	1.50	1.00	2.00	+0.50
3位	突発性発疹	1.50	1.00	1.00	+0.50

2 発生から見る注意点

1) RSウイルス感染症が継続して発生しています

県の定点あたり患者数は今週7.97人（先週8.91人）とやや減少しましたが、依然として多い状況が続いています。管内は3.00人となっています。直近の5週間に県内の定点医療機関から報告された患者4,437人の年齢分布では、1歳28%、2歳24%、3歳18%の順で多く、0～3歳が全体の84%を占めています。

RSウイルスを病原体とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ全員が感染しますが、その後も感染を繰り返します。乳幼児の肺炎及び気管支炎の重要な原因となっていて、特に心肺等に基礎疾患があると重症化しやすいといわれています。昨年は新型コロナウイルスの影響で、手洗いなど感染防止対策が徹底されたため、流行がありませんでした。そのため乳幼児が免疫を獲得する機会が少なく、今年の流行につながった可能性があるともいわれています。手洗いやうがいを徹底し、乳幼児が呼吸器症状を示した場合は早めに医療機関を受診することが重要です。

2) 感染性胃腸炎の発生が続いています

感染性胃腸炎は、年間を通じて発生し、ノロウイルス、ロタウイルス等多種多様な原因により起こります。ウイルスは患者の便や吐物中に大量に含まれており、強い感染力をもっています。また、症状がなくなった後も通常1週間程度、長い時には1か月ほど便中にウイルスが排出されるため、症状消失後も注意が必要です。

手洗いの徹底、吐物処理の徹底、貝類等は十分加熱して食べる等、感染拡大防止にご配慮ください。

ノロウイルスに関するQ&A（厚生労働省HPより）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

3) ダニ媒介感染症に注意しましょう

ダニ媒介感染症

病名	日本紅斑熱	つつが虫病	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）
病原体	日本紅斑熱リケッチア	つつが虫病リケッチア	SFTSウイルス
媒介ダニ	マダニ	ツツガムシの幼虫	マダニ
潜伏期間	2～8日	5～14日	6～14日
症状	発熱・発疹・刺し口重症化することあり		発熱・消化器症状重症化することあり

ダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まります。

草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、虫除け剤を使用し、長袖・長ズボン（シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する）、足を完全に覆う靴（サンダル等は避ける）、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大切です。

また、屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認して下さい。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などがポイントです。

マダニに咬まれたら、無理に引き抜こうとせず、皮膚科など医療機関で処置をしてもらいましょう。

ダニ媒介感染症(厚生労働省ホームページ)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

3 新型コロナウイルス感染症について

兵庫県内では、第29週は707人（先週529人）の新型コロナウイルス新規感染者で、1.3倍と増加が継続しています。特に20歳代が多く、また50歳代以下が93%を占めています。

これ以上感染を拡大させないために、また自分自身や大切な人の命を守るために、マスクの着用、手洗いや手指消毒、3密の回避等感染防止対策を徹底し、一人ひとりが「うつらない・うつさない」との強い思いで取り組むことが大切です。

1) 感染再拡大を阻止！

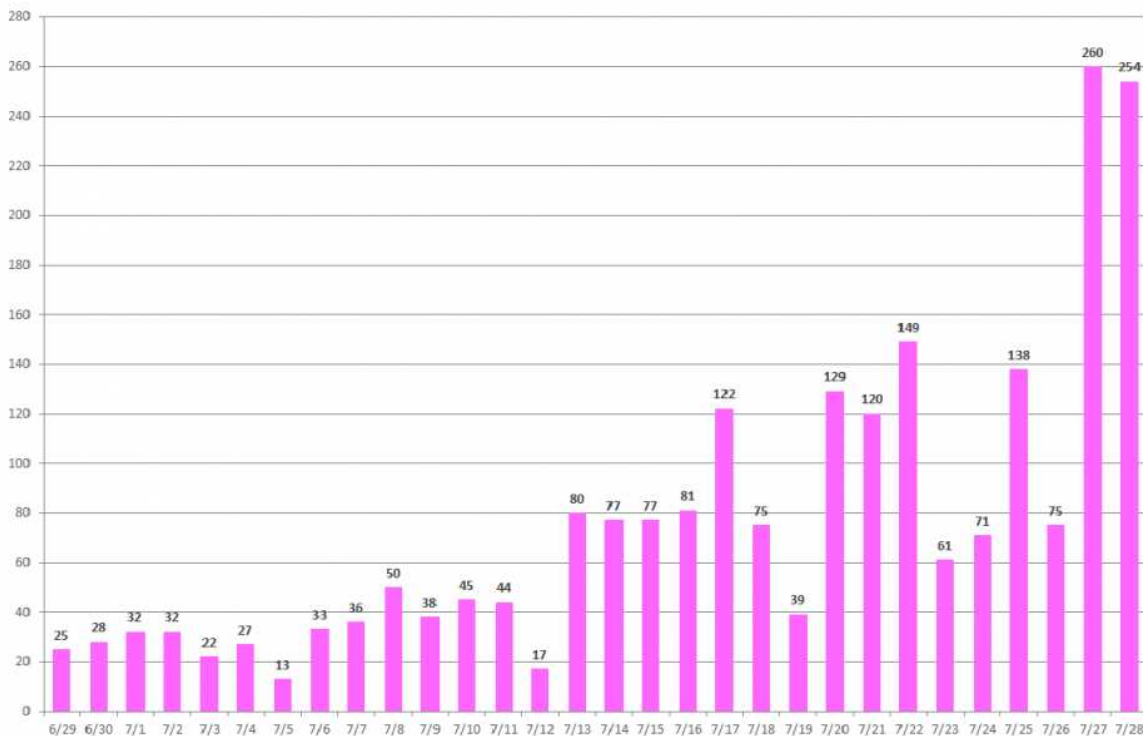
新規感染者数は、感染増加の局面にきています。

第4波の感染拡大よりも速いペースで増加しており、第5波への感染再拡大は予断を許しません。オリンピック・パラリンピックの開催や夏休みによる人出の増加が見込まれるなど厳に警戒が必要です。絶対に感染を再拡大させないという強い思いのもと、感染対策の徹底をお願いします。

【直近1週間平均患者数】

	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28	7/29
新規陽性者数:1週間平均(人)	99.3	92.0	101.0	106.1	124.9	144.0	162.7
重症者用病床の使用率(%)	9.4	10.2	10.9	14.5	13.8	16.0	—

【直近1ヶ月の陽性件数の推移（6/29～7/28）】



兵庫県内の新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/corona_hassei_jyokyo.html

皆様へのお願い

(1) 外出の自粛

- ・夏休みなど、東京や大阪等の感染拡大地域との往来や県境を越えた不要不急の往来は自粛してください。
- ・路上・公園での飲酒・友人・グループによる宅飲みなど感染リスクの高い行動はやめてください。

(2) 家庭内での感染対策

- ・会食の自粛やマスク着用、手洗い、消毒、換気などの感染対策を徹底し「ウイルスを家庭に持ち込まない、ウイルスを家庭内外に広げない」行動を徹底してください。
- ・帰宅後の手洗い、室内喚起の実施、毎日の検温、家族の健康管理を行い、発熱などの症状が出た場合はかかりつけ医に相談してください。
- ・部活動やサークル活動などの際には、熱中症に注意しながら、会話の際のマスクの着用など感染対策を徹底してください。

(3) ワクチン接種の推進

- ・65歳未満の対応も始まりました。市でのワクチン接種や県での大規模接種などへの積極的な参加をお願いします。
- ・ワクチン接種後も引き続き、マスクの着用、手洗い、人と人の距離の確保など基本となる対策の徹底をお願いします。

(4) 事業所・施設等での対策の徹底

- ・従業員等の体調管理、マスクの着用、換気、消毒液の設置など感染防止対策の徹底、テレワーク等の推進をお願いします。

感染拡大を予防する「日常生活」（ライフスタイル）



(兵庫県) 新型コロナウイルス感染症の対応について

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/200129.html>

新型コロナウイルスの感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」の推進

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/hyogo-style.html>

2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」

時間	機関	電話番号
平日 9:00~17:30	朝来健康福祉事務所	079-672-0555
平日・休日 24時間	新型コロナ健康相談コールセンター	078-362-9980

新型コロナウイルス感染症に関する情報については、以下のホームページ等で随時更新されています。

1 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

2 国立感染症研究所 新型コロナウイルスに関連する情報

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>

3 兵庫県新型コロナウイルス感染症について

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/singatakorona.html>

4 新型コロナウイルスの対応について

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/200129.html>

4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

＜問合せ先・予約先＞朝来健康福祉事務所

電話 079-672-0555

ホームページ <https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk08/asagoeizukensa.html>

メール asagohokensho-aids@pref.hyogo.lg.jp

実施日 8月実施日 8月5日(木)、8月19日(木)